



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともしよう

◆点鐘：小林 恵一 会長 ◆ロータリーソング：国歌・スポーツ県民歌
◆司会：高嶋 俊幸 副 S.A.A. ◆会場：大沼デパート



Yamagata West Rotary

第2828回例会

平成30年11月12日(月)

会長挨拶

小林 恵一 会長



先月1日(月)以来、久しぶりに例会場に戻って参りました。今日は時間がタイトとのことですので、この1ヶ月余りを時系列で簡潔におさらいさせて頂き、同時にご報告に変えさせて頂きたいと思っております。

1. 10月13日(土)は、もみじ公園内の宝紅庵・清風荘で茶会例会を開催致しました。薄日の差す穏やかな天候のもと静かな庭園を背景に、細谷先生ご夫妻のご教示を得て日本の伝統文化「茶会」を体験させて頂きました。詳細につきましては会報をご覧頂きたいと思っております。

2. 10月14日(日) 7RCゴルフコンペが開催され見事優勝致しました。

3. 10月15日(月)に行われました指名委員会におきまして、次年度副会長(3年後の会長)候補に、東海林健登さんが選任されました。同時に、次年度会長エレクトに佐藤章夫さんが承認されましたこと併せてご報告致します。

4. 10月21日(日)は、酒田市に於いて、2800地区・地区大会が開催され当西クラブ及び個人部門で伊藤義彦さん、遠藤栄次郎さんが受賞されております。後程、幹事を通しご披露させて頂きます。

5. 先週11月3日(土)～5日(月)の3日間、高知南RCの60周年記念式典が開催され会員及び会員の奥様を含め総勢28名で出席して参りました。

高知南RCとは、1976(S51年)姉妹クラブ締結以来42年間に渡る交流が続いています。この度も大変な歓迎をもって迎えて頂きました。

高知南RCは、長年に渡り地域社会への貢献や国際奉仕への取り組み女性会員の入会促進など多岐に渡り積極的なクラブ運営に取り組みされており、ここ3年で実質30名の会員増強を達成される等、目覚ましい躍進ぶりです。記念式典も内容が充実して簡潔明瞭、スムーズな進行といい素晴らしい立派な式典でした。大変刺激を受けてまいりました。

親睦ゴルフコンペ、エクスカッションにおいても、最後まで心のこもったご配慮を戴きました。友情に感謝致しますとともに、これからも交流を通し、絆を深めてまいりたいと思っております。

6. 最後に、皆さんもすでにご存じと思いますが、11月

3日、山新に掲載されました秋の叙勲で、旭日小受章に我がクラブの中山眞一さんと、前会員の徳永正鞠さんが受賞されております。おめでとうございます。

以上、本日の挨拶とさせて頂きます。

幹事報告

菅原 茂秋 幹事

- ロータリーレートは、1ドル112円。前月と変わらずです。
- 山形勤労者福祉サービスセンター様から山形市が作った地域密着型福利厚生制度の案内をテーブルのほうに配布させていただきます。
- 地区大会の参加の御礼を上林ガバナーより頂戴しております。
- 本日は、細則の第2条第2項、次年度の理事を鈴木会長エレクトから発表していただくことになってございます。幹事に海和浩運さん。会計に芦野茂さん。理事として吉田福平さん、原田久雄さん、西谷真一さん、後藤章洋さん。以上の方々へ次年度の理事をお願いしたいと思っておりますので、12月10日総会の折には、ぜひ皆さまからご承認を賜るようによろしくお願いいたします。
- 千歳貞治郎さんから快気の商品券を頂戴いたしました。元気になられたということでご報告申し上げます。
- ニコニコの賞金1万7,500円については、会長とも相談いたしまして、参加された皆さまの祝勝会もしくは春の球風会の食事をゴージャスにするか何かで検討したいと考えております。
- 在籍40年ロータリーアン表彰を伊藤義彦会員。併せて第20回メジャードナーを頂戴しております。本日欠席でございますが、88歳米寿表彰には千歳貞治郎会員も頂戴しております。
- ロータリー財団の寄付総額第1位、鈴木一作ガバナーより頂戴しております。こちらは地区大会で会長が頂戴しております。
- RI会長賞も頂戴しております。
- 感謝状が米山財団理事長の斎藤様より寄附総額第2位、併せて頂戴しております。
- 30年表彰、柴田健一会員は本日欠席でございます。
- 10年表彰、西谷真一会員、富田浩志会員、高橋昌之会員。米山に多額のご寄付を遠藤会長よりいただくこととなっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

各表彰



委員会報告

親睦・家族委員会

岡崎 重知 委員

会員の方が11名、奥様が5名、お誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

ロータリー財団委員会

芦野 茂 委員長

今月はロータリー財団強化月間になります。FAXにてご連絡いたしました通り、お1人様100ドル、今月のレートでは1万1,200円の寄付をお願いいたします。会長・幹事200ドル以上、理事・直前・エレクト・副会長の方々は100ドル以上とお気軽に寄附をいただけるよう金額を設定いたしました。また、多額の寄付をご予定されていますパストガバナー・会長経験者の方々には、ご集金にお伺いさせていただきます。寄付は来年の6月30日まで受付をいたしております。今月を逃してもまだまだチャンスがございます。皆さまよろしくお祈りいたします。

ゲスト卓話

「モンテディオ山形のこれから」

株式会社モンテディオ山形
代表取締役社長
森谷 俊雄 氏



皆さまにはご支援いただきまして、本当にありがとうございます。今日この場に来て、株主と取締役とスポンサーとサポーターが、もう皆さん一緒に集まっているような中で、なんか盆と正月とキックオフと一緒に来たみたいな感じでおります。

今日は「モンテディオ山形の現状とこれから」ということでお話申し上げます。その前に、皆さんのほうに資料として話の内容とは全然関係のない最終戦、大分戦のご案内と、「ご支援ください」という正会員、スポンサーのご案内を差し上げております。今日の話はいろいろ申し上げるかもしれませんが、スタジアムに足を運んでください。そしてモンテディオへの皆さまの支援をよろしくお祈りいたします。この2つにつけるわけでございます。

まず、先ほど木村さんからご紹介いただきました、リーグ戦は残念ながらもう消化試合ということになっていきますけども、天皇杯はベスト4進出させていただきました。まだ鹿島と甲府のベスト4をかけた戦いが今度の21日でございます。その結果によって、今のところ予定は12月16日準決勝、そして12月24日クリスマスが決勝となっております。準決勝は仙台のユアスタ（ユアテックスタジアム仙台：補足）で、決勝は埼玉で、という予定になっております。ただ、鹿島が甲府に21日勝ちますと、ご承知のとおり鹿島はACLでチャンピオンになりましたので、そのあとのクラブワールドカップ、一挙に日程が早まりまして、12月5日が仙台での準決勝、そして9日が決勝ということになります。ぜひ皆さまには、平日になるか日曜日になるか、ぜひ仙台に足を運んでいただける方は応援していただければと。ぜひ仙台で終わらないで埼玉に行きたい。4年前のあの盛り上がりをもう1回再現し、今度はてっぺんまで行けるように。昨日、木山監督の続投を決めさせていただきました。監督の続投を選手に言う時、来季を見込んでの監督続投ではあるけども、まずは大分戦、大分も決勝、優勝がかかって全国的にも注目が集まる最終戦になります。そして天皇杯と続きますので、ここを今のメンバーでしっかり戦っててっぺんまで行こうという話をさせていただいたところです。ぜひ皆さんにも後押ししていただければと思います。

高知南ロータリークラブ創立60周年記念式典

2018年11月3日(土) ザ クラウンパレス新阪急高知



モンテディオ山形の経営状況を申し上げますと、昨シーズン17年予算と実績、そして18年予算を掲げます。売上げで15ないし16億円、それを今年は16億円に初めて乗せさせていただきました。1番のウエイトを占めているのは皆さまから頂戴している広告料収入、スポンサーからの広告収入です。今年、4億6,000万円まで増やしていただきました。J2カテゴリですが、思い切って伸ばさせていただきました。非常にJ2を巡る状況が厳しい中で、いい選手を獲って戦いたいというところでございます。チーム人件費は、去年4億5,000万円で作りました。監督、コーチングスタッフ、トレーナー、あと選手、30人から途中補強して32、3名超えますが、全部の人件費になります。従いまして監督、選手だけのものではないことがご承知いただければと思います。それが去年4億5,000万円、最終的に勝利給とか目標に届かなかったもんですから、着地で落ちて4億3,800万円。今年はこれを当初で5億1,000万円という形で伸ばしました。今年、10番をかけていた瀬沼など、非常に大きな選手が移籍しましたので、その移籍料が途中に入って、これに移籍料を入れたまた補強を今年、外人も含めてやっておりますので、この5億1,000万円はもっと伸びております。こういった非常に厳しい中で戦いきるためには、広告料を伸ばさせていただき、入場料もなんとか伸ばすという決意でした。おかげさまで広告料も入場料収入も、予算を上回る着地ができる見通しでございます。なんとか黒字経営は維持して今シーズン終わられそうな状況です。来季に向けてまたチーム編成、待たなしで始まり、今年以上のパフォーマンスを皆さんに見ていただけるチームを木山監督のもとで作っていきたく思っております。

そして、ここで中期計画をご紹介申し上げます。Jリーグは非常に競争が激化しております。モンテディオ山形、過去2回J1に昇格させていただいておりますが、木山監督も千葉や愛媛で監督しておりました。千葉で初めて監督をしていた頃には、大体J1を目指す大体5チームぐらい、あの辺をマークして必死についていけばという感じだったと。ところがここにきて、もう半分以上がJ1を経験しているクラブ。そういう中で今J2、22クラブありますが、もう15クラブから18クラブぐらい、どこが行ってもおかしくない。そういう状況の中で戦うということなので、もう10年、20年、モンテディオ、今年20年目に入ってますけども、もう以前とは全然違う環境の中で戦っている。去年降格になった新潟、チーム人件費はもう12億円超えています。多分13億円超えています。そういう中で、今年、新潟も苦しんでいます。「下位チームに弱いよね」とか「上にはよく善戦するんだけどな」とか「J1に勝ててなんでJ2に負けるんだ」とかいろいろなこと言っていただき、それはもう皆さん、我々と一緒に気持ちを1つにしてなんとかがんばってくれよという声だと思っておりますが、そういう意味で言うと、もう横綱相撲できるクラブはどこにもない。十両に負けてもおかしくない、横綱に勝ってもおかしくない、そんな状況で戦っているということをご理解いただければありがたい、そういう期待の中で我々もがんばっていきたく思っています。この状況は、だんだん地方クラブが成長してきたということもあります。J1クラブ、10クラブからスタートして、J3も含めて54クラブに全国なってます。東北でいうと、仙台がJ1、山形がJ2、秋田、福島、岩手がJ3で戦ってます。青森はこれからJ3を目指すクラブが育ってきています。今までは比較的J1のビッグネームのクラブが稼いだ放送権料を地方のクラブにまで配分して、広く地域に根差したクラブを育てていこうという大きなJリーグの戦略がありましたが、ここに至ってやっぱり、今後は決勝トーナメントに残ってベスト8までは行くんだという決意のもとに、裾野を広げる施策から頂点を引き上げる、ヨーロッパで勝ち切る、そしてアジアはもちろん、ヨーロッパまで行って対等に渡り合えるようなビッグクラブを作っていこうと、舵が切られています。その背景にあるのは今年からDAZN(ダゾーン:補足)の10年で2,100億円という大きな放送権料が入りましたけども、これをクラブ間競争に、うかうかしてたら取り残されるという環境の中で上を目指してもらおうと、そういう施策に舵が切られています。協調から競争のステージへとということで考えております。

モンテディオのチーム人件費、先ほど今年ようやく5億円を超

えましたと申し上げましたが、これがJ2の過去3年間の、14年、15年、16年、3年間の順位とその年の各クラブの人件費と順位を置いたものなんです。1位、2位、自動昇格圏内に行くのは、やはり下で言うと、最低でも4億円、5億円、6億円。やはり10億円近くになると、自動昇格圏内に常に入ってくるというデータです。6位までがプレーオフ、今年も逃がしましたが、6位までだと、やはり4億円から6億円ぐらいの間に大体入るクラブがプレーオフ圏内に、やはりお金を準備してチームを作るということで、もうここは逃げられない現実でございます。

先ほど、これは16年までですから、2年前の数字です。ここにDAZNマネーが入り、各クラブとも伸びてます。私どもも伸びてます。ただ、大スポンサーも含めて、いろんなクラブがもう経営も含めた戦略を今練り始めてますので、そういった中でこれからモンテディオも戦っていかなければならない。地元の多くの方々のスポンサー、そして自治体も含めて、広くご支援いただいている地域に根差したモンテディオ山形、ここのベースは今後も変わりませんし、その土台というのは強固にしていかなきゃなんない。さらに、県内スポンサーだけでなく県外からも大きなスポンサーを取っていくということがもうマストな状況でございます。

今年、県とJAさんからご協力いただいて、公式ユニフォームの後ろに、背番号の下に「雪若丸」入れていただきました。これでもうやくスポンサーの公式ユニフォーム埋まり、今年から新たに鎖骨の上に入れられるようになってます。ここ2つ、空いてます。一応、定価で申しますと、8,000万円です。ぜひ皆さまから「入れるぞ」と言っていただければ大変ありがたいんですが、値段は要交渉で。県外のいろんな有力企業のご紹介でも結構です。ぜひお寄せいただければ大変ありがたいと思います。

これがチーム人件費の比較ですが、非常に伸びてます。千葉、今年J1に上がった長崎、J3から上がって今J2駆け足のようにがんばってます山口。あと松本、トップ争いを大分とやっていますが、松本もここまで伸ばしてきています。山形は16年と17年ちょっと横ばいで、17年と18年で見ると、さっき言ったように雪若丸も入りましたのでもっと伸びるんですが900万円しか伸びてない。そういった中で申し上げると、上がなかなか背中が見えてこない。それで後ろにいるなど思ったらヒタヒタと足音が背中に迫ってきてると、そういった状況でございます。

今年3月に中期計画、今年、来年、再来年と3年間、J1を目指すという前提でJ1ステージで戦った時、こういった姿を求めていくんだという経営計画です。これはトップ、経営層で作っても、社員がみんなこれを目標達成するんだということでない絵に描いた餅になりますので、これは現場で苦勞している社員たちみんなでディスカッションしてもらって練り上げていった数値になります。先ほど16億円の売上げと申し上げましたけども、これを21億円まで持っていく。2015年と対比してJ1で、1年で降格しましたが、あのJ1のステージで戦った時と比較して、ちょっと対峙しております。チーム人件費はプラス3.5億円。平均入場者数は7,000人を目標にやっていますが、今年は6,700人ぐらいの推移です。J1に1年いた時、10,000人超えたんですけども、私就任してから1年目が6,300人からスタートして、2年目が6,500人、今年6,700人。トレンドとして見ると、1年目から2年目、2年目から3年目ということで、「ああ、今年も駄目か、今年も駄目か」ということで、本当は過去のトレンドを見ると横ばいよりもマイナスになるんです。みんなチームも選手も協力してくれて、社員もがんばってくれて、皆さんの来場、本当に皆さんからもご協力いただいて、なんとか200人ぐらいずつですけども、上向きの数字は維持できているという状況でございます。それで、広告料収入を先ほど4億6,000万円と申し上げましたが、今年の見込みが大体5億2,000万円、これを上回りそうですけども、それをなんとか早く引き上げていきたいということでございます。目標入場者数、13,000人を目指していこうという流れですけども、1番端の2年が過去3年間いた時のJ1時のホームゲームの入場者数です。それで10,000人ちょっと超えています。ここがプレーオフで4年前、5年前ですね、4年前、J1で戦った時の姿です。そのあと私就任して、6,200人、6,300人、6,900

人。今の時点で昇格もなくなったということで、6,700人、800人、700人の間で今やっています。一応損益計画ではJ1に上がって11,000人、13,000人と伸ばして、J1で安定的に戦える、仙台みたいに安定して戦えるクラブになっていきたいというのがこの中期計画の姿でございます。

モンテディオ山形の方々は、年々そのまま平均年齢が上ってきてるんです。20代、30代、この辺がいまいちまだ伸び切っていないという状況にありますので、新しいお客さまを入れていかないと。安定して6、7,000人入っていただけるクラブになりましたけれども、10,000人、13,000人と伸ばしていくためには、新スタジアムという大きな構想もございますが、まずは今のスタジアムでも12,000人、10,000人を超えるようなゲームをやり続けられるクラブを目指したいということなんです。わずかばかりの投資、余力ある中で、今クラブ経営している中で1番のポイントは、いかにチーム人件費を多くするかということにかけてます。次にできるだけ今のスタジアムで観戦環境を整え、雨には濡れただかざるを得ませんが、せめて食事の時ぐらいは雨に濡れない環境で、あるいはゲームに飽きた小さなお子さんが遊べるスペースをということで、少しずつ環境も整えさせていただいているという状況です。やはり今まで勝つことばかりの戦うことばかりのお話をしましたが、やはり地域に根ざすクラブとして、学校に選手が訪れて、小学校を中心に夢を持つことの大事さとか、そういったことを子どもたちと一緒にボールを蹴りながら、そしてやり取りをしながら喜んでもらっているという活動も一生懸命やっています。山形の花笠には選手一同集まって、ゲーム日程ある中で、ゲームの次の日になるんですけども、勝ったあとは本当に盛り上げるんですけども、もう負けたあとは非常に選手も気が重くて参加するんですけど、沿道から多くの声援をいただいて、選手たちも非常に気分転換になって、スタジアムとはまた違う形で声援をいただいて、本当にいい機会を与えていただいております。ありがとうございます。

先ほど広告料を伸ばさせていただきましたということで、私が就任した時と比べて収入が3億円から5億円、企業数が570社から703社、これはスポンサーの広告収入をいただいているスポンサーのほかにも正会員、5万円以上の賛助会員の数も入っております。非常に多くの皆さまからご支援をいただいている状況です。

スポンサーのために、これまではロイヤルボックスとはいえ名ばかりで、パイプ椅子でご覧いただいておりますが、今年からいくらなんでもということで、さっきのキッズスペースと一緒に、こういった雰囲気但至少でも味わっていただけるような椅子を入れてお待ちしておりますので、ぜひおいでいただければと思います。

今日、新スタジアム会社の共同代表にご就任いただいている清野会長さんもいらっしゃいますけれども、民間の会社を昨年9月に立ち上げて、まずは県を動かす、行政を動かすための計画作りを今しております。これを具体的には県に事業化の方針を決定していただくための計画。そして市町村から「ぜひ、わが市に」、「わが町に」、「こういったスタジアムをこういった町づくりのコンセプトで作ってみたい」と、「作ろう」と、「一緒に作ろう」という提案をいただいて、あとで選定する方針を出しておりますが、市町村の方々に手を挙げるためのベースになる計画ということでございます。それを早急に県のほうに提示しながら、県から方向性を出していただければ来年からの公募に入っていければと思っております。

来年ワールドカップラグビー、そして東京オリンピックもあります。東京オリンピックが終わる秋頃、あくまでもこれは願望ですが、行政と手を握らなければ進められないプロジェクトではありますが、流動的な要素はいっぱいあるかと思っておりますけれども、どこにどんなスタジアムを作るんだというようなものが見えてくればと思っております。

非常に気の長い話だとも言われますが、非常にビッグプロジェクトですし、地域活性化、地域経済にいかにもモンテを1つのコンテンツとして地域を賑わせる起爆剤にするかという意識でわれわれもがんばってまいりますので、どうぞ経済界の皆さまからもご支援をいただければと思います。東京オリンピック頃までにはなんとか建設場所決定を目標にしていきたいなというところでございます。

最後にアカデミーのことをご紹介申し上げます。アカデミーは21世紀協会で進めております。今、半田陸がU-17、高校2年生で日本代表の日の丸背負ってレギュラーでキャプテンマークを付けてほぼフル出場しています。これはユースですが、18年のマレーシアで優勝してこれから来年のペルーで行われる大会に出場する予定です。地元からも着実にいい選手を育てていくべくがんばっておりますので、よろしくお願いたします。

ニコニコBOX

小林恵一会長、菅原茂秋さん／高知南RC 60周年記念式典に28名で参加し姉妹クラブとして大変すばらしい交流になったことに感謝致します。10月13日(土)の茶会例会で細谷先生ご夫妻のご教示のもとに大変貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます

半田 稔さん／お茶会、地区大会、高知南RCの訪問など楽しい行事が続きましたので。

佐藤章夫さん／熱烈歓迎と厚いおもてなしに感激。西クラブのツアーコンダクター戸田委員長の心配りに感謝楽しい旅でした。

遠藤靖彦さん／今日は、お忙しい中、森谷社長におこしいいただきありがとうございます。

鈴木浩司さん／高知南RC 60周年記念式典に参加して参りました。高知南RCのみなさまには最後までお世話になりましたありがとうございます。

酒井啓孝さん／約50年ぶりでなつかしい人と再会。11/3高知予定していましたがその日山形に来ると言うのでキャンセルして再会。楽しかったです。

高嶋俊幸さん／10/14開催されました7ロータリーコンペですが、山形西ロータリークラブが見事優勝いたしました。個人的にもスコアに貢献できましたのでニコニコさせていただきます。

市内7RCゴルフコンペ参加メンバー同／10月14日市内7ロータリークラブゴルフコンペにおいて、団体優勝を果たしました。尚個人の部では準優勝に佐藤充昭さん、第三位に高橋勝治さんが見事入賞致しました。

後藤章洋さん／秋もだいふ深まってまいりました。朝晩はかなり冷え込んでおります。お体にはご自愛下さい。今後ともニコニコボックス委員会を宜しくお願申し上げます。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (11/12)	97名	59名	修正出席 (10/13)	97名	85名	82名	96.47%
メークアップされた会員	(イブニング) 堀田 稔、風間 義朗、橋本 徳光 (山形中央) 早川 徹、橋本 徳光、浦口 太門、佐藤 吉博、橋本 慶昭、高橋 勝治、小松 公博 (山形北) 武田 元裕、伊庭 公也、清野 伸昭、小林 廣之、武田 周治、澤渡 章、浦口 太門、佐藤 吉博、伊藤 義彦 (山形) 長岡 壽一、早川 徹、風間 義朗、橋本 徳光、佐藤 吉博、伊藤 義彦、小林 廣之 (山形北) 鈴木 隆一						